

令和2年度 恵庭市水と緑のまちづくり審議会 議事録（書面開催）

【開催日】

令和3年2月19日（金） ※意見書集約日

【出席委員】（書面表決書提出者）（13名）

綾部 勉、岡本 浩一、北林 優、黒崎 暁子、斉藤 浩二、下原 干城、
白崎 亜紀子、杉町 博孝、中島 守、沼倉 健一、山口 裕美、山口 昌志、
吉田 愛子（五十音順、敬称略）

【議事】

（1）恵庭市水と緑のまちづくり表彰者について（諮問）（非公開）

※賛成13名、反対0名⇒賛成者数が出席者の過半数以上のため、承認

（2）その他意見等

（A 委員）事業計画の中で、緑化推進目的であります「桜並木整備事業」を、これからも実践継続に期待します。

（B 委員）街路樹の再生指針については本当によくできていると思います。

（C 委員）資料2 街路樹の再生指針に基づく報告について、令和2年度は安全間引き205本、危険街路樹除伐234本、合計439本の街路樹が無くなっております。街路樹再生指針の目的は街路環境や街路景観の向上であるので、単に引き算をして終るのではなく、その代替として可能な限りの新規植栽と育成管理を行っていただきたいと考えております。

（D 委員）令和3年度もコロナに配慮しながら関連事業が行われることを願っております。「街路種の再生指針に基づく取り組みについて」市民の相反する意見があるのはもどかしいですが、安全を重視した様々な対策がとられていることを伝えながら対話をし続けることが大事だと思います。情報も市民に届くことが大事。再資源化など地域に還元されるものであることが認識されると愛着が深まりそうですね。

以上